※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	副読本を使用						
副教材等	新精選古典文法三訂版（東京書籍） 古文単語覚えるぞ３２１（尚文出版） 新成古文大学入学共通テスト対策新装版（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品読解を通して当時の文化や生活を理解していくことを心がけましょう。
・古文の文法・単語能力の知識を身に付けるためにしっかり予習復習をしてください。
・予習では必ず教材の本文を写し、１回は本文を読んでおきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は十分学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識・技能】古典としての古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることができる。
【思考・判断・表現】１年次の古文の基礎をもとに、中古文学を中心に作品の読解ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】古文の世界を深く味わい日本文化を理解するととのに、大学入試に対応した学力をつける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古文をとおしてそれぞれのきまりを理解し、品詞や句型、修辞法などの知識を身に付け、正しく読む能力を身につける。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	話の展開と登場人物の心情を読みとる ［教材］ 小野篁、広才のこと	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている b[　読　]:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている c:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて進んで理解を深め、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、学習課題にそって作品のもつ背景について発表しようとしている	小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認 ノート点検	行動の観察 記述の点検 ノート点検
	内容や描写に着目し、随筆の特徴を理解する ［教材］ 徒然草 あだし野の露消ゆる時なく 悲田院の堯蓮上人は 世に従はん人は	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている b[　読　]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している c:古典の作品や文章の種類とその特徴について進んで理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価し、学習課題にそって作品の特徴について話し合おうとしている	小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認 ノート点検	行動の観察 記述の点検 ノート点検
二学期	物語中の和歌の役割について理解し、物語に描かれた人間のありようを考える ［教材］ 伊勢物語　初冠 筒井筒	a:古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている b[　読　]:古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めている [　書　]:古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めている c:古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について進んで理解を深め、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、学習課題にそって自分の考えをまとめて発表しようとしている	小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認 ノート点検	行動の観察 記述の点検 ノート点検

※令和４年度以降入学生用

	随筆に表現された筆者の価値観や心情を読みとる ［教材］ 枕草子　二月つごもりごろに 大納言参り給ひて	a:・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている b[　読　]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している c:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて進んで理解を深め、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価し、学習課題にそって創作活動を行うことで随筆の特徴について理解を深めようとしている	小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認 ノート点検	行動の観察 記述の点検 ノート点検
三学期	評論に表現された筆者の考え方を読みとる ［教材］ 俊頼髄脳 無名抄	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている b[　読　]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している [　書　]:古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている c:古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について進んで理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって創作を行い、気がついたことについて話し合おうとしている	小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認 ノート点検	行動の観察 記述の点検 ノート点検

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０～１５　）時間

・読むこと　…　（　５５～６０　）時間